

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月13日

上場会社名 石井食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2894 URL <http://www.ishiifood.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務戦略部総括MGR (氏名) 植草 豊彦

TEL 047-459-9061

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	3,089	—	51	—	57	—	20	—
20年3月期第1四半期	2,976	△5.7	33	△72.5	40	△67.8	2	△95.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	1.10	—
20年3月期第1四半期	0.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	11,466	6,945	60.6	378.17
20年3月期	11,368	7,003	61.6	381.31

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 6,945百万円 20年3月期 7,003百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	5.50	5.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.50	5.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	5,980	—	30	—	32	—	5	—	0.27
通期	12,700	2.6	200	502.1	240	371.8	120	—	6.53

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	18,392,000株	20年3月期	18,392,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	26,255株	20年3月期	25,714株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	18,366,016株	20年3月期第1四半期	18,370,775株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

本年2月に発生した毒入り餃子事件により食に対する消費者の不信感が高まり、さらにこの事件以降に次々と発生した偽装問題などで食の安全に対する信頼性がなくなりました。これらの事件により、冷凍食品を中心としたお弁当商材のお客様離れが進む一方、より安全な商品をお客様が求めるようになりました。

当社グループの取組みとしては、独自の原材料履歴管理システムを活用した、原材料履歴情報、残留農薬検査内容の開示を積極的に行うことはもとより、お客様に自ら当社工場へ来場していただきご自分の目で確かめ、ご自分の手で感じていただけるよう工場見学を積極的に受け入れるようにいたしました。

また、工場見学にお越しただけの方にも、東京・名古屋・大阪においてプレゼンテーション会を実施し、お客様へ、当社グループの取組み内容のご説明を行ってまいりました。

このような活動を行ってまいりました結果、売上高は30億89百万円（前期比103.8%）となり、売上原価におきましては原油や穀物などの高騰による原材料費が増加いたしました。品質の向上を目的としたロスの防止からの費用の削減に努めました結果、営業利益は51百万円となりました。これにより、経常利益は57百万円となり、これに、法人税等充当額の処理を行った結果、四半期純利益は20百万円を計上することとなりました。

製品別売上高

(単位：千円未満切り捨て)

製品別	当連結第1四半期 (20.4.1～20.6.30)	
	金額	構成比
		%
食肉加工品	2,897,087	91.6
冷凍食品	23,420	0.7
中華調味料	42,085	1.3
そう菜	162,123	5.2
その他	39,163	1.2
合計	3,163,880	100.0

(注) 上記は売上割戻控除前の金額であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産額は前連結会計年度末に比べ98百万円増の114億66百万円となりました。また、負債総額は前連結会計年度末に比べ1億55百万円増の45億21百万円、純資産は前連結会計年度末に比べ57百万円減少の69億45百万円となり、この結果、自己資本比率は60.6%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは2億58百万円の増加となりました。主な要因としては減価償却費の計上によるものであります。投資活動によるキャッシュ・フローは7百万円の減少となりました。主な要因としては有形固定資産の取得の支出によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは1億18百万円の減少となりました。主な要因としては配当金の支払いと借入金の返済によるものです。これらにより、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は1億32百万円増加の30億38百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期業績結果は、平成20年5月9日に開示いたしました当期業績予想に対し、堅調に推移しており、通期の業績予想に変更はございません。

今後の活動であります。当社グループの食への安全に対する取り組みを皆さんに知っていただくためにお客様が直接生産現場を評価していただけるように工場見学をオープンなものにし、一般の方でも気軽に工場見学できるようにしていきます。こういった活動を通じてお客様の信頼を得られるように活動していく考えでございます。

支出面においては、お金の使用の目的を明確にし、そこから三方得になるように、ロス管理・時間管理を徹底し取引先様との共創を図っていきたくと考えております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一次差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

⑤税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価の切り下げの方法）に変更しております。なお、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,049,069	2,916,304
受取手形及び売掛金	1,568,904	1,462,874
商品	3,124	3,845
製品	15,255	20,125
半製品	27,724	33,536
原材料	236,597	212,372
仕掛品	86	73
貸倒引当金	△3,927	△3,648
その他	83,874	104,788
流動資産合計	4,980,710	4,750,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,184,397	2,249,404
機械装置及び運搬具	1,679,893	1,775,594
土地	1,143,099	1,143,099
工具、器具及び備品	60,515	65,218
有形固定資産合計	5,067,906	5,233,316
無形固定資産	64,116	68,273
投資その他の資産	1,353,989	1,316,793
固定資産合計	6,486,012	6,618,384
資産合計	11,466,723	11,368,656
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	358,910	327,084
短期借入金	2,130,000	2,130,000
1年内返済予定の長期借入金	50,670	67,560
未払法人税等	39,875	47,118
賞与引当金	177,836	87,126
その他	626,941	582,444
流動負債合計	3,384,233	3,241,333
固定負債		
長期借入金	331,450	331,450
繰延税金負債	31,730	17,250
退職給付引当金	568,865	564,165
長期未払金	204,989	211,178
固定負債合計	1,137,035	1,124,045
負債合計	4,521,269	4,365,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	5,304,140	5,385,015
自己株式	△6,649	△6,508
株主資本合計	6,889,892	6,970,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55,561	32,369
評価・換算差額等合計	55,561	32,369
純資産合計	6,945,454	7,003,277
負債純資産合計	11,466,723	11,368,656

(2) 【四半期連結損益計算書】

	(単位：千円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	3,089,549
売上原価	1,887,832
売上総利益	1,201,717
販売費及び一般管理費	
給料	186,161
支払手数料	74,385
運搬費	344,367
販売促進費	130,917
その他	414,505
販売費及び一般管理費合計	1,150,338
営業利益	51,379
営業外収益	
受取利息	1,350
受取配当金	5,722
雑収入	2,452
その他	7,242
営業外収益合計	16,767
営業外費用	
支払利息	10,686
その他	345
営業外費用合計	11,031
経常利益	57,115
税金等調整前四半期純利益	57,115
法人税、住民税及び事業税	36,974
四半期純利益	20,140

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	57,115
減価償却費	177,940
賞与引当金の増減額 (△は減少)	90,709
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,699
長期未払金の増減額 (△は減少)	△6,189
受取利息及び受取配当金	△7,072
支払利息	10,686
売上債権の増減額 (△は増加)	△106,030
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,417
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,825
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△2,805
未払消費税等の増減額 (△は減少)	30,548
その他	36,163
小計	304,172
利息及び配当金の受取額	6,264
利息の支払額	△10,517
法人税等の支払額	△41,411
営業活動によるキャッシュ・フロー	258,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7,426
投資有価証券の取得による支出	△558
その他	286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,698
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△16,890
自己株式の取得による支出	△141
配当金の支払額	△101,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,045
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	132,764
現金及び現金同等物の期首残高	2,905,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,038,069

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前第1四半期にかかる財務諸表等

(1) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結会計期間 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	
	金 額	百分比
I 売上高	2,976,349	100.0
II 売上原価	1,787,568	60.1
売上総利益	1,188,780	39.9
III 販売費及び一般管理費	1,154,908	38.8
営業利益	33,872	1.1
IV 営業外収益	18,007	0.6
V 営業外費用	10,943	0.3
経常利益	40,936	1.4
VI 特別利益	3,066	0.1
VII 特別損失	35,400	1.2
税金等調整前四半期(当期)純利益	8,603	0.3
法人税、住民税及び事業税	6,263	0.2
四半期純利益	2,339	0.1

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前第1四半期連結会計期間 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	
	金 額	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前四半期(当期)純利益		8,603
2 減価償却費		192,158
3 受取利息及び受取配当金		△ 6,787
4 支払利息		9,990
5 売上債権の減少額		△ 98,185
6 仕入債務の減少額		20,671
7 たな卸資産の増減額(増加は△)		6,903
8 その他		172,251
小計		305,605
9 利息及び配当金の受取額		6,581
10 利息の支払額		△ 8,699
11 法人税等の支払額		△ 85,246
営業活動によるキャッシュ・フロー		218,241
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有形固定資産の取得による支出		△ 82,392
2 無形固定資産の取得による支出		△ 17,115
3 その他		△ 2,876
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 102,384
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 長期借入金の返済による支出		△ 16,890
2 配当金の支払額		△ 101,040
3 その他		△ 167
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 118,097
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少は△)		△ 2,241
V 現金及び現金同等物期首残高		3,227,414
VI 現金及び現金同等物期末残高		3,225,173